

みずほの企業行動規範



みずほフィナンシャルグループ

グループの皆さんへ

グローバリズムの質的变化、ESG への急速な意識の高まり、テクノロジーの進展に伴う社会変革、少子化・高齢化の加速など、時代はますます不確実性を増しています。私たちを取り巻くビジネス環境が大きく変化する中、〈みずほ〉としていかにお客さま、経済・社会の課題解決に貢献できるか、付加価値を提供し成長を実現できるかということは重要なテーマです。

今年が〈みずほ〉の源流の一つである第一国立銀行が発足してから 150 年です。渋沢栄一、安田善次郎など、フェアでオープンな姿勢と先見性をもって経済・社会の発展に挑んできた多くの先人達の DNA が私たちにはあります。これを活かし、お客さま一人ひとりの夢と希望に向かう挑戦に寄り添い、金融やコンサルティングの力で幸福な人生に貢献すること、新しい技術や事業へ挑む企業に事業・金融面のサポートをしながらサステナブルな社会に向けてともに歩むことを目指したいと考えています。そのために、従来の企業理念の再定義を行い、企業活動における根本的な考え方としての「基本理念」、実現したい社会を踏まえた存在意義である「パーパス」、そしてパーパスを実現するための価値観・行動軸として「バリュー」を創り上げました。

今般、「みずほの企業行動規範」についても、「企業理念を实践するうえで遵守すべき規範」とし、従前の「倫理上の規範」に留まらず、サステナブルな社会の実現や社会的課題の解決等、〈みずほ〉に対する役割期待の拡大を踏まえた内容に見直しました。

企業行動規範は、経営および業務上の決定や行動をする際に、常に拠り所とすべき規範であり、ただのお題目ではありません。自立の精神で、「私たちの毎日の判断や行動が、お客さま、経済・社会、そして仲間に誠実に向き合っているか」ということを、常に、この企業行動規範に照らし合わせて自ら考え、正しく行動してください。判断に迷うとき、また、皆さんの周りで企業行動規範に基づく判断や行動が実践されていないと感じることがあったら声をあげてください。そのためにも、誰もが臆せず発言し、自立的に判断し行動できる環境をつくっていくことを経営としてお約束します。

お客さま、経済・社会、そして社員の皆さんと〈豊かな実り〉をともに分かち合える未来を目指して挑戦しましょう。

2023 年 5 月 15 日

株式会社みずほフィナンシャルグループ
取締役 兼 執行役社長 グループ CEO

木原正裕

『くみずほ』の企業理念』

基本理念

くみずほは、フェアでオープンな立場から、時代の先を読み、お客さま、経済・社会、そして社員のく豊かな実りを実現する。

パーパス

ともに挑む。ともに実る。

バリュー

変化の穂先であれ。

- | | |
|--------------|---------------------|
| - Integrity | お客さまの立場で考え、誠心誠意行動する |
| - Passion | 強い思いを持ち、楽しく働く |
| - Agility | 迅速に決断し、実践する |
| - Creativity | 何事にも関心を持ち、創造力を磨く |
| - Empathy | 多様な意見に耳を傾け、協力する |

『くみずほ』の企業理念』と「みずほの企業行動規範」

- みずほフィナンシャルグループにおいては、くみずほ)として行うあらゆる活動の根幹をなす概念として、『くみずほ)の企業理念』が制定されています。
- 「みずほの企業行動規範」は、『くみずほ)の企業理念』を実践していくうえで遵守すべき規範と位置付けられるものであり、経営および業務上の各種決定を行う際、常に拠り所とするものです。

『くみずほ)の企業理念』

- 基本理念 : 企業活動の根本的考え方
- パーパス : みずほグループの存在意義
- バリュー : パーパスを実現するための価値観・行動軸

企業理念を実践するうえで遵守すべき規範

みずほの企業行動規範

- I. 基本姿勢
- II. お客さまに対する姿勢
- III. 経済・社会に対する姿勢
- IV. 社員に対する姿勢

目次

I. 基本姿勢

- 1. 社会的責任と公共的使命 1
- 2. 健全な企業活動とリスクカルチャーの醸成 1
- 3. ステークホルダーとの建設的対話 1

II. お客さまに対する姿勢

- 1. お客さま本位の実践 1

III. 経済・社会に対する姿勢

- 1. 人権の尊重 2
- 2. 環境への配慮 2
- 3. 金融犯罪・反社会的勢力への対応 2
- 4. 経済・社会に対する貢献 2

IV. 社員に対する姿勢

- 1. 多様性の尊重と一人ひとりが「自分らしくあること」の実現 .. 2

I. 基本姿勢

1. 社会的責任と公共的使命

- ・経済・社会インフラを担う社会的責任と公共的使命の重みを常に認識し、健全な経営と安定的な業務運営に徹します。

2. 健全な企業活動とリスクカルチャーの醸成

(1) 法令やルール等の遵守

- ・あらゆる法令やルールの遵守はもとより、広く社会的規範にもとることのない、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。

(2) 健全なリスクカルチャーの醸成

- ・将来の環境変化や様々なリスク波及経路も踏まえたリスクの本質を理解し、自らがリスクオーナーとして、立場を超えたオープンなコミュニケーションを通じて、リスクテイクの適切さを常に追求します。
- ・取るべきリスクは取り、制御すべきリスクは制御します。

3. ステークホルダーとの建設的対話

- ・財務面の情報開示のみならず、多様な取り組みについて、積極的、効果的かつ公正に情報を開示し、経営の透明性を高めます。
- ・ステークホルダーとの建設的な対話を通して、ステークホルダーからの理解と信頼を確保するとともに、自らの企業価値向上、健全性確保、サービスの質の向上をめざします。

II. お客さまに対する姿勢

1. お客さま本位の実践

- ・お客さまを良く知り、常にお客さまの立場で考えることで、真のニーズに合った質の高いサービスを提供します。
- ・すべての業務が、お客さまの信頼を得ることにつながっていることを自覚し、誠心誠意行動します。

Ⅲ. 経済・社会に対する姿勢

1. 人権の尊重

- ・すべての人々の国際的に認められた人権を尊重し、私たちの事業活動が人権に対して影響を及ぼす可能性があることを認識して行動するとともに、人権尊重の精神に溢れた企業風土を築きあげます。

2. 環境への配慮

- ・環境への取り組みは企業の存立と活動に必須の要件であることを認識し、積極的に取り組みを進め、持続可能な社会の実現をめざします。

3. 金融犯罪・反社会的勢力への対応

(1) マネー・ローンダリング、テロ資金供与および拡散金融の防止

- ・マネー・ローンダリング、テロ資金供与および拡散金融の防止に努め、国際社会の安全の確保、そして経済活動の健全な発展に貢献します。

(2) 贈収賄行為および汚職・腐敗行為の防止

- ・贈収賄行為および汚職・腐敗行為への一切の関与を禁止し、誠実かつ公正な行動を実践することで、健全な企業活動の維持・発展をめざします。

(3) 反社会的勢力との関係遮断

- ・市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは、一切の関係を遮断し、金融インフラ機能の健全性と安全性を確保します。

4. 経済・社会に対する貢献

- ・経済・社会とともに挑み、ともに実る「良き企業市民」としての役割を果たします。

Ⅳ. 社員に対する姿勢

1. 多様性の尊重と一人ひとりが「自分らしくあること」の実現

- ・あらゆる多様性を尊重し、それぞれの違いを超えて認め合い、〈みずほ〉で働く一人ひとりが「自分らしくあること」を実現します。